あなたを想うサイエンス。

FANCL

第26期中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日

進化しつづける無添加
25周年
FANCL

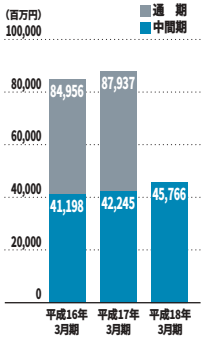
■株主のみなさまへ

代表取締役 社長執行役員　藤原謙次

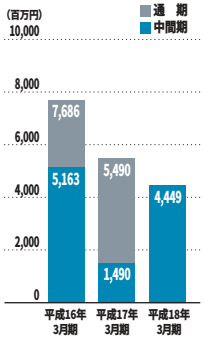
連結財務ハイライト

	当中間期（百万円）	対前中間期（%）
売上高	45,766	8.3
化粧品関連事業	19,736	10.6
栄養補助食品関連事業	16,524	11.3
その他事業	9,505	△0.4
経常利益	4,449	198.6
中間純利益	2,332	1,466.4
１株当たり中間純利益（円）	109.52	1,464.6
総資産	81,266	5.8
株主資本	68,384	4.9

売上高



経常利益



当中間期（平成17年４月～平成17年９月）のファンケルグループ連結決算について概要をご報告申し上げます。

私がファンケルの社長に就任して２年が経ちました。当時、創業以来初めての減収減益という厳しい局面での社長交代でした。そこで業績の低迷を打開し、成長力と収益性の回復を目指すため、平成15年11月に「中期三ヶ年経営計画（FANCL Change & Challenge Plan）」を策定し、組織整備・人材育成・企業風土改革に乗り出しました。その二年目にあたる当期は、コア事業である化粧品関連事業と栄養補助食品関連事業の売上が店舗販売を中心に好調に推移し、期初の見通しを若干ではありますが、上回るペースで着実に前進しております。

当中間期の連結業績について

【化粧品関連事業】ファンケル化粧品では、前期にリニューアルを行った「マイルドクレンジングオイル」、８月にリニューアルを行った「ファンケル 洗顔パウダー」といったスキンケア製品が順調に売上を伸ばしました。アテニア化粧品は、ポイントラリーキャンペーンなど効果的な販売促進策の展開により売上は堅調に推移しました。

【栄養補助食品関連事業】「コエンザイムQ10」や「α-リポ酸」、そして当社独自成分を用いた高付加価値製品「HTCコラーゲン」が好調に推移しました。

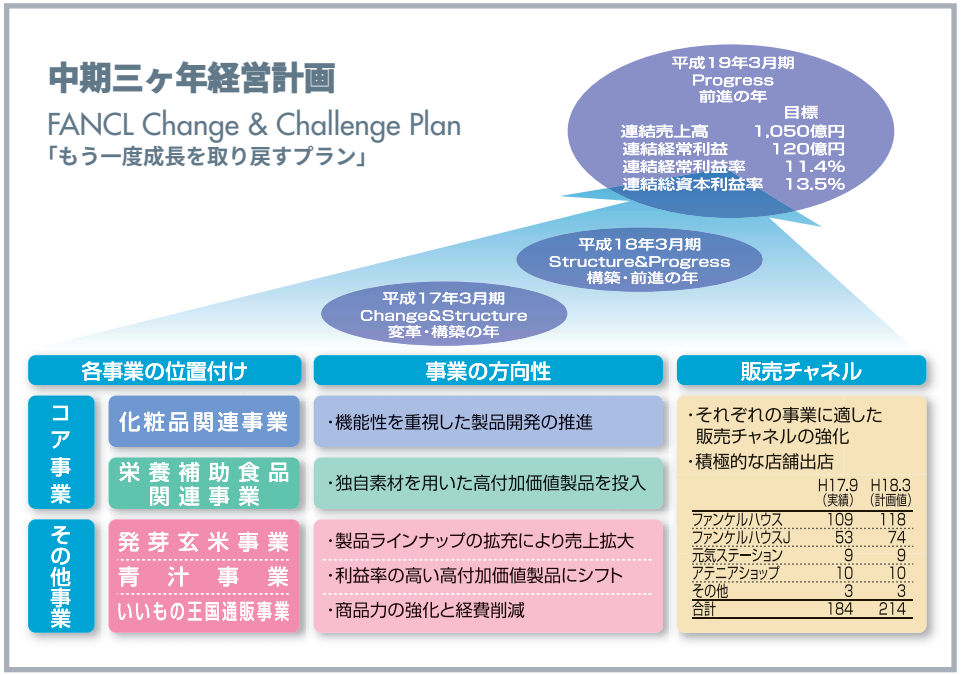
【その他事業】発芽玄米事業は通信販売・卸販売ともに低迷が続いたものの、青汁事業はツイントース配合の粉末タイプが好調で、増収となりました。また、いいもの王国通販事業はカタログ販売が堅調で、売上が回復しております。

以上の結果、当中間期の売上高は、45,766百万円（前年同期比8.3%増）、経常利益は4,449百万円（前年同期比198.6%増）、中間純利益は2,332百万円（前年同期比1,466.4%増）となりました。

中期三ヶ年経営計画の進捗状況

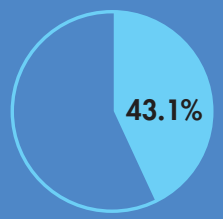
販売チャネルでは、店舗の強化を引続き行い、既存店の売上伸び率が平成16年の４月以降、18ヶ月連続で前年を上回る結果を出しています。当期は上期に16店舗出店を行い、下期には、当初計画45店舗を15下回る30店舗の出店を予定しております。当社の店舗の特長はカウンセリング力です。出店のペースを落としてでも、既存店・新店を含めた店舗のサービスレベルの質を確保すべきと考え、あえて下方修正させていただきました。また、当社のお客様は、首都圏・近畿圏の大都市部に集中し、地方での認知度が低いことから、マーケティング戦略を見直し、地方エリアの活性化を図っております。

来期が三ヶ年計画の最終年度となります。グループ企業価値の増大を図り、持続的成長を遂げる企業を目指し、変革と挑戦に取組んでまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

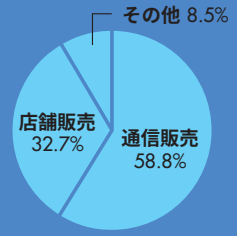


化粧品関連事業

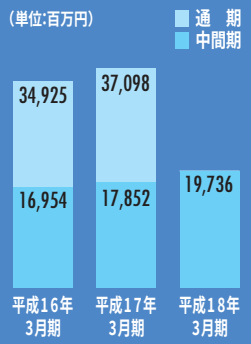
事業別売上高構成比



販売チャネル別
売上高構成比



売上高



化粧品関連事業の売上高は、19,736百万円（前年同期比10.6%増）となりました。そのうち、ファンケル化粧品は14,791百万円（前年同期比12.5%増）、アテニア化粧品は4,726百万円（前年同期比3.4%増）の売上高となりました。

ファンケル化粧品は基礎化粧品の活性化を図るため機能性を重視した製品開発を行い、8月に「洗顔パウダー」のリニューアルを行いました。アテニア化粧品は、基礎化粧品を中心に季節限定商品などの販売促進活動を展開しました。

販売チャネル別では、通信販売は11,595百万円（前年同期比4.8%増）となりました。ファンケル化粧品は、限定デザインボトルの発売などにより「マイルドクレンジングオイル」の販売が好調に推移したことに加え、「洗顔パウダー」や「フェナティ」の売上が堅調に推移したことにより、売上高は7,250百万円（前年同期比6.5%増）となりました。アテニア化粧品は、基礎化粧品が堅調に推移した結果、売上高は4,341百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

店舗販売は、既存店が引続き好調に推移し、出店効果もあって、売上高は6,458百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

その他の販売チャネルは、海外向け、コンビニエンスストア向け販売がともに堅調に推移したことにより、1,683百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

また下期は、当社独自のアンチエイジング成分であるマリアアザミ由来の「シリビンフィトソーム」を配合した美容液を新発売いたします。

極上の洗い上がり

「ファンケル 洗顔パウダー」

水にさっと溶けて、クリーミーな持続性のある泡が肌をツルツルに洗い上げる高機能洗顔料です。肌のうるおいを守りながら、汚れだけをおとすことができる最高の素材「アミノ酸系洗浄成分」からできています。この素材の唯一の弱点は水気。水の含まれた状態で長時間置くと、機能性・気泡力も低下してしまいます。そのため、成分の良さを活かすには、パウダーであることが必須。だからファンケルは、使う直前まで最高の状態を保つパウダータイプにこだわりました。ニキビ、くすみなど、あらゆる肌質・肌の悩みに対応し、どんな肌も理想の洗い上がりに仕上げます。

ここが違う ファンケル 洗顔パウダー

- つっぱらずに、やわらかツルツルの洗い上がり
- パーフェクトセンサー洗浄機能で、どんな肌悩みにも対応
- ダマにならず溶けやすい、モコモコ泡
- 洗顔後、化粧液・美容液の浸透が違う
- バスルームに置いても湿気ない、こだわりの容器

オススメ! 洗顔マッサージ美容法

ファンケル洗顔パウダーと洗顔パフを一緒に使うことで、洗浄効率を高めるとともに、洗顔でマッサージ効果が得られます。肌の新陳代謝を整え、透明感のあるツルツル美肌に導きます。

ループパイル状のミクロ繊維が汚れを簡単に落とします

数量限定のスペシャルキット2シリーズ

5月には、ホワイトニングケアアイテム5品をオリジナルミニバッグにセットにした「ファンケル パーフェクトホワイトニングキット 2005」を、また6月にはテカリ、ベタつき、毛穴の目立ちを抑える「ファンケル シーバムクリーンキット」（オリジナルボックス入り）をいずれも数量限定で発売しました。

パーフェクトホワイトニングキット 2005

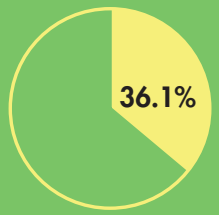
ファンケル シーバムクリーンキット

もっと深く、もっとみずみずしく

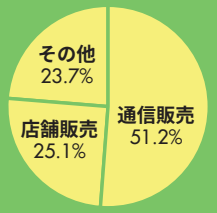
アテニア「エクストラモイストローション シートマスク」

大人気の保湿ローション「エクストラモイストローション」が、部分用集中保湿シートマスクになって新登場。100%天然コットン素材で肌にやさしく、マスク用に成分強化した深層柔軟保湿化粧水とマスクの密閉効果で、たっぷりのうるおいを肌に閉じ込めます。切れ込みのある大判サイズで、目もと、口もとなどの部分乾燥を手軽にケアできます。

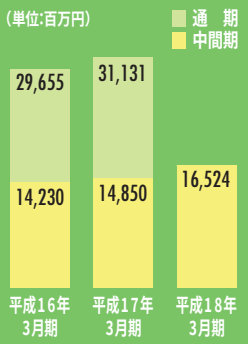
事業別売上高構成比



販売チャネル別
売上高構成比



売上高



栄養補助食品関連事業

栄養補助食品関連事業の売上高は16,524百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

健康食品業界では、「コエンザイムQ10」に続き、「α-リポ酸」が健康情報テレビ番組で取り上げられ、一大ブームとなり、市場の拡大、競争の激化が顕著となっております。

栄養補助食品関連事業では、4月に独自成分を配合した「HTCコラーゲン」、6月に注目の成分「α-リポ酸」を新発売し、順調に売上を伸ばしました。また9月にリニューアルした「カロリミット」も順調な滑り出しとなりました。

通信販売は、「コエンザイムQ10」が好調に推移したことに加え、「α-リポ酸」や「HTCコラーゲン」などの新製品効果により、8,453百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

店舗販売は、栄養補助食品の売上構成比の高いファンケルハウスJの出店や業態変更を推進したことに加え、既存店の売上も好調に推移した結果、売上高は4,154百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

その他の販売チャネルは、取引先数が増加したことにより、3,916百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

ファンケル独自の新機能成分

「ツイントース」

カルシウムなどのミネラル吸収を助けるファンケルの独自成分「ツイントース®」をスティックタイプにした新製品。粉末タイプなので、牛乳やヨーグルト、料理などに加えるだけで、体に大切なカルシウムの吸収を助けます。冷たい牛乳にもサッと溶け、ほのかな甘みがあるので、混ぜると風味がまろやかになります。砂糖不使用なので、お子様やダイエット中の方にも安心です。

「どこでも鉄分 ツイントース配合」

かんで食べるサプリメントシリーズにプルーン風味の「鉄」が新登場。持ち運びに便利な小袋タイプで、おいしく手軽に鉄を摂取できます。鉄は、一般に体内への吸収率が低く、食品から十分な量をとることが難しいとされていますが、ツイントースを配合することで、鉄の吸収を高めた機能性の高いサプリメントです。

ツイントース®とは？

ファンケルが、北海道大学、日本甜菜製糖株式会社と共同で研究開発した新機能成分。カルシウムや鉄などのミネラルの吸収を画期的に高めます。

「ツイントース」は株式会社ファンケルの登録商標です。

「HTCコラーゲン」

「HTCコラーゲン」は、ファンケル総合研究所が5年の歳月をかけて独自に研究したオリジナル成分です。一般的なコラーゲンより吸収がよく、ハリとつやを保つアミノ酸を多く含んでいるので、弾むような美しい肌づくりを強力にサポートします。

スベスベな美しさに

「クリアコントロールAC」

ストレスや女性特有のサイクルなどによるバランスの乱れが原因の大人のブツブツに7つの成分が複合的に働き、スベスベな美しさを応援します。

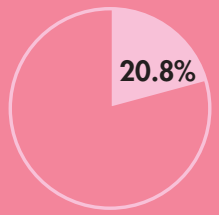
<特許第3270030号>

いま話題の新成分！

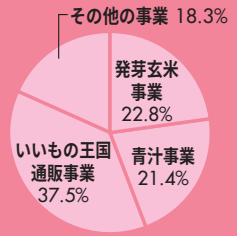
「α-リポ酸」

「α-リポ酸」は、体内の細胞を活性化させる補酵素のひとつ。ファンケルはα-リポ酸を油脂コーティングすることで、体内への吸収が緩やかになるよう工夫しています。

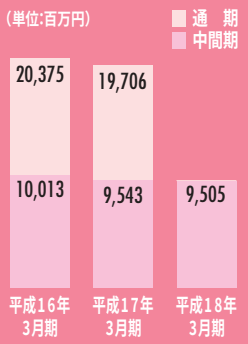
事業別売上高構成比



セグメント内
売上高構成比



売上高



その他事業

その他事業の売上高は9,505百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

発芽玄米事業は、顧客数の減少により通信販売での売上が減少し、卸販売も不振で売上高は前年同期を下回り、2,169百万円（前年同期比17.4%減）となりました。10月には白米に近い“味”を実現した新製品「おいしい発芽米」を発売し、マーケットの拡大を図ります。

青汁事業は、利益率の高いツイントース配合の粉末タイプの売上が好調で、売上高は前年同期を上回り、2,028百万円（前年同期比22.9%増）となりました。また、平成17年７月より冷凍タイプの高付加価値製品「スーパー青汁 ツイントース配合」の販売を開始いたしました。

いいもの王国通販事業は、カタログでの販売が堅調だったことにより、売上高は前年同期を上回り、3,564百万円（前年同期比6.2%増）となりました。商品力の強化と経費削減により、安定して利益を上げられる体制を構築しつつあります。当中間期はミズノ（株）と共同開発したウォーキングシューズが好調でした。下期は若い女性にもターゲットを広げ、ダイエットスープなどリピート商材の開発により、収益強化を図ります。

また、その他の事業は、雑貨・肌着の販売が低迷したことなどにより、売上高は前年同期を下回り、1,742百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

発芽米の栄養が手軽に摂れる

「発芽米 健康 ポップライス」シリーズ（無塩、七穀、手づくりたまり醤油）

ギャバや食物繊維、ビタミン、ミネラルなどの発芽米の栄養が手軽に摂れる無添加素材のクラッカーです。１枚あたり19kcalと低カロリーなので、生活習慣病予防や健康に気を配っている方に最適です。

青汁と大豆の栄養を効率よく補給できる

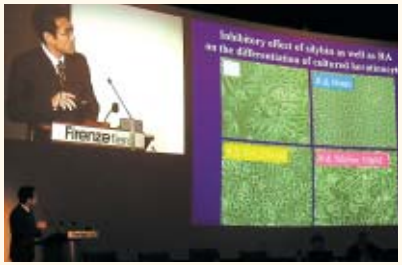
「青汁粉末 大豆ミックス ツイントース配合」

飲みやすさと栄養成分の吸収にこだわった青汁に、大豆を追加。「ケール」と「大豆」の2つの優れた栄養素をおいしく手軽に摂取できます。さらに「ツイントース®」配合で、カルシウムをはじめとするミネラルの吸収をアップし、女性におすすめの栄養素であるイソフラボンの働きもしっかりサポートします。

学会発表

シリビン（マリアアザミエキス）の皮膚老化防止について

約５年の歳月をかけて、新しいアンチエイジング素材（しわ対策）の研究に取組み、マリアアザミの種子から抽出したシリビンが皮膚に対して安全で、しわ改善効果が高いことを発見しました。イタリアのフローレンスで９月に開催された2005年度国際化粧品技術者会連盟中間大会では、「シリビンの皮膚老化防止作用」に関して研究成果を発表しました。



国際化粧品技術者会連盟中間大会での発表風景

マリアアザミ

南ヨーロッパ・北アフリカ・アジアに広く分布するキク科の植物。ヨーロッパでは、古くから肝臓を守るとされてきました。葉や茎、花も全てが食用になり、サラダなどによく利用されます。

用語説明

国際化粧品技術者会連盟（IFSCC:International Federation of Societies of Cosmetic Chemists）は、化粧品研究者、技術者から構成される化粧品関連で世界最大の学術団体。1959年に誕生し、現在では42ヶ国、約14,000名の会員を擁する国際的組織です。

TOPICS

コーポレートスローガンを発表

創業25周年を迎え、今まで使用していた「人間、大好き企業。FANCL」に代わる、新しいコーポレートスローガンを制定いたしました。

新スローガンは「あなたを想うサイエンス。FANCL」です。

ファンケルの企業活動、商品作り、サービスは、人を想う気持ちから全てが始まります。あなたのことを想い、あなたの肌の美しさや健やかさのためにできることなら、どんな小さなことでも誠実に向き合い、一つひとつの「本物の解決策」を生み出していく。
あなたを想う気持ちが、技術を導き、技術を磨き、サイエンスとなる。あなたを想う気持ちが、真に価値のある商品・サービスを生み出します。
「あなたを想うサイエンス」この想いが、ファンケルの企業活動の全ての原点です。

8月よりTVCMをはじめとするさまざまな場面で、当社からのメッセージとして発信しています。

あなたを想うサイエンス。FANCL

ファンケル クラシック開催

8月19日～21日の３日間、「ファンケル クラシック」が静岡県裾野カンツリー倶楽部にて開催されました。当社では「シニアの元気なくして景気回復なし」を合言葉に、社会貢献の一環として、このトーナメントを社団法人日本プロゴルフ協会（PGA）と共催してきました。優勝賞金1,500万円、賞金総額6,000万円と、シニアツアーにおいては最大規模の賞金を誇る、注目度の高い大会です。第５回を迎える今回からは、“元気溢れるシニア世代はもはや「シニア」ではない”との意味で、従来の「ファンケル シニア クラシック」から「ファンケル クラシック」へ改称しました。優勝者は初日から首位をキープしていた三好隆プロ。滝安史プロとのデッドヒートを制し、見事優勝を決めました。その模様はTXN系にて全国にテレビ中継されました。また会場には、青汁など健康ドリンクの無料提供コーナーや、骨量チェックコーナーなども設置され、好評でした。今回は昨年の倍近い4,500人を超えるギャラリーにお越しいただきました。

FANCL CLASSIC

第5回大会優勝
三好隆プロ

新テレビコマーシャルがスタート

新しくなったファンケルのTVCM。「洗顔マッサージ美容法」「マイルドクレンジングオイル」シリーズでは、当社研究員が登場し、当社ならではの美容法・製品特長を訴求。「ファンケルの約束」シリーズでは、化粧品事業の４つの絶対価値（無添加の徹底追求・鮮度へのこだわり・「不」の解消のための研究開発・ご満足の無期限返品保証）を紹介。いずれのTVCMにおいても、お客様に対する思いやり・やさしさを、確かな技術・サイエンスによって実現するファンケルの企業姿勢や製品を表現しています。

洗顔マッサージ美容法 TVCM
『洗顔だけで肌がかわるってホントかな？』というお客様の問いに当社研究員が答える親しみやすいCM

「社会環境活動レポート」を発刊

CSRの視点から、当グループの社会貢献や環境保全を中心とした取組みを「ファンケルグループ 社会環境活動レポート2005」としてまとめました。
内容としては、

ファンケルグループの原点である「安心・安全のための取組み」、
ファンケルが一番大事にしている「お客様とともに」、
今まで継続的に実施してきた「社会とともに」「環境とともに」

の各章から成っており、それぞれの活動内容をよりわかりやすく表現しています。５月の創立25周年式典、また６月の株主総会で、ご来場いただいたみなさまにも配布いたしました。

現在当グループでは、本年度をCSR活動の元年と位置づけ、社長の藤原を委員長とする「CSR推進委員会」、その下部組織として「社会貢献」・「環境」・「情報開示」・「情報セキュリティ」・「リスクマネジメント」・「企業倫理」の各部会を立ち上げ、CSRの視点からさらなる社内体制の整備を行っています。来年には、本年の「社会環境活動レポート」を進化させた「CSRレポート（仮題）」を発刊する予定です。

～私たちは、お客様や社会の声に耳をすましてきました。これからもそうしたいと想っています。～

■業績（連結ベース）

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前中間期 平成16年9月30日現在	当中間期 平成17年9月30日現在	前期 平成17年3月31日現在
（資産の部）			
流動資産	38,449	42,158	39,079
現金及び預金	14,765	18,695	17,380
受取手形及び売掛金	8,262	9,162	8,713
有価証券	7,733	6,926	4,926
たな卸資産	5,990	5,764	5,663
その他の流動資産	1,698	1,610	2,395
固定資産	38,347	39,108	40,336
有形固定資産	26,342	25,971	26,533
建物及び構築物	12,454	12,554	12,781
その他の有形固定資産	13,888	13,417	13,752
無形固定資産	1,383	1,163	1,222
投資その他の資産	10,621	11,973	12,579
投資有価証券	1,107	1,977	1,954
長期貸付金	1,007	696	659
保証金	2,480	2,607	2,526
その他の投資その他の資産	6,026	6,691	7,438
資産合計	76,796	81,266	79,416
（負債の部）			
流動負債	8,789	11,078	10,457
支払手形及び買掛金	2,904	3,638	3,049
その他の流動負債	5,885	7,440	7,408
固定負債	2,821	1,803	2,754
負債合計	11,611	12,882	13,212
（資本の部）			
資本金	10,795	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,752	11,706
利益剰余金	50,144	53,009	51,172
その他有価証券評価差額金	22	43	26
為替換算調整勘定	△4	△4	△4
自己株式	△7,477	△7,211	△7,492
資本合計	65,185	68,384	66,203
負債・資本合計	76,796	81,266	79,416

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期 自 平成16年4月 1日 至 平成16年9月30日	当中間期 自 平成17年4月 1日 至 平成17年9月30日	前期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日
売上高	42,245	45,766	87,937
売上原価	14,481	15,789	30,031
売上総利益	27,764	29,977	57,905
販売費及び一般管理費	26,471	25,806	52,476
営業利益	1,292	4,171	5,428
営業外収益	414	429	770
営業外費用	217	151	709
経常利益	1,490	4,449	5,490
特別利益	57	—	57
特別損失	281	447	1,181
税金等調整前中間（当期）純利益	1,266	4,001	4,366
法人税、住民税及び事業税	650	1,350	2,532
法人税等調整額	466	318	124
中間（当期）純利益	148	2,332	1,709

中間連結剰余金計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期 自 平成16年4月 1日 至 平成16年9月30日	当中間期 自 平成17年4月 1日 至 平成17年9月30日	前期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日
（資本剰余金の部）			
資本剰余金期首残高	11,706	11,706	11,706
資本剰余金増加高	—	46	0
資本剰余金中間期末（期末）残高	11,706	11,752	11,706
（利益剰余金の部）			
利益剰余金期首残高	50,528	51,172	50,528
利益剰余金増加高	148	2,368	1,709
利益剰余金減少高	533	531	1,065
利益剰余金中間期末（期末）残高	50,144	53,009	51,172

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期 自 平成16年4月 1日 至 平成16年9月30日	当中間期 自 平成17年4月 1日 至 平成17年9月30日	前期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	285	4,673	4,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△810	△2,189	△4,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△542	△168	△1,090
現金及び現金同等物に係る換算差額（差益：△）	5	—	5
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△1,062	2,314	△1,253
現金及び現金同等物期首残高	23,561	22,307	23,561
現金及び現金同等物中間期末（期末）残高	22,498	24,621	22,307

■会社情報（平成17年９月30日現在）

会社概要

会　社　名	株式会社ファンケル
英　文　名	FANCL CORPORATION
※本店所在地	横浜市栄区飯島町109-1
※本社事務所	横浜市中区山下町89-1
電話番号	045-226-1200（代表）
設　　立	昭和56年８月
資　本　金	10,795百万円
従業員数	675名（パート・嘱託は除く）
主な取引銀行	UFJ銀行 東京三菱銀行 みずほコーポレート銀行

※平成17年10月１日付で、本店所在地を横浜市栄区から横浜市中区に変更いたしました。

役員

○印 代表取締役
＊印 取締役

○社長執行役員	藤原　謙次
専務執行役員	余頃　康之
＊常務執行役員	宮島　和美
＊常務執行役員	中島　純也
＊常務執行役員	針谷　吉典
常務執行役員	奈須野　俊廣
＊取締役	成松　義文
＊執行役員	石渡　健一
＊執行役員	池森　行夫
執行役員	圓山　勝美
執行役員	芝　正二
執行役員	辻　智子
執行役員	村上　晴紀
執行役員	龍地　敏典
執行役員	片瀬　信郎
執行役員	山口　友近
執行役員	矢島　明
執行役員	平野　豊
＊取締役	早川　吉春
常勤監査役	山田　鯛二
常勤監査役	池田　文子
監査役	小関　勝紀
監査役	飛島　章

（注）1. 取締役の早川吉春氏は、商法第188条第２項第７号ノ２に定める社外取締役であります。
2. 監査役の山田鯛二、池田文子、小関勝紀および飛島章の４氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第１項に定める社外監査役であります。

連結子会社一覧

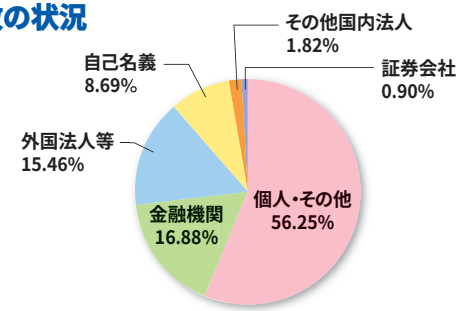
会社名	住所	資本金	設立	議決権の所有割合	事業内容
（株）アテニア	横浜市栄区	150百万円	平成元年２月	100%	化粧品・栄養補助食品の販売
ニコスター（株）	横浜市栄区	10百万円	昭和59年９月	100%	化粧品の製造
（株）いいもの王国	東京都渋谷区	196百万円	昭和37年12月	81.6%	健康器具・家庭用雑貨等の販売
（株）ファンケル発芽玄米	長野県東御市	95百万円	平成11年８月	84.6%	発芽玄米の製造
FANCL ASIA (PTE.,) LTD.	シンガポール	875百万円	平成12年３月	100%	化粧品・栄養補助食品等の販売
（株）ファンケル美健	横浜市栄区	100百万円	平成14年10月	100%	化粧品・栄養補助食品の製造

■株式情報（平成17年９月30日現在）

株式の状況

証券コード	4921（東証１部）
会社が発行する株式の総数	77,946,000株
発行済株式の総数	23,392,200株
株主数	18,108名

所有者別株式数の状況



株主メモ

決算期日	３月31日
定時株主総会	６月中
基準日	３月31日
１単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）
同取次所	みずほ信託銀行株式会社　全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社　本店および全国各支店
公告の方法	電子公告（当社ホームページ　http://www.fancl.co.jp）

＊当社株式に関する事務手続き用紙（お届出の住所・姓名・印鑑等の変更届、配当金振込指定書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

0120-288-324（フリーダイヤル）　インターネットアドレス　http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/

お知らせ

平成17年６月21日付で、名義書換代理人をUFJ信託銀行株式会社（現・三菱UFJ信託銀行株式会社）から、みずほ信託銀行株式会社に変更いたしました。

株式会社ファンケル
横浜市中区山下町89-1 〒231-8528
Tel. 045-226-1200（代表）
www.fancl.co.jp
当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

環境に配慮して再生紙を使用しています。